

石井衣子 いしの 歌人、隨筆家。明治二十九年二月二十四日東京市神田區藏樂町生れ、昭和二十五年四月十五日歿（八六―一九六〇）。大正二年飯田高島屋社長石井忠吉に嫁し、八年夫の勤務地アルゼンチンに赴く。一日歸國も外務省商務官に任ぜられた夫と再度渡ア、退官後は同地で貿易商社を經營。短歌は十七歳頃より佐佐木信綱に師事、歌集『波にかたる』（大正十四年十一月）『白百合』、竹柏會「心の華叢書」（きこ上梓）に採られた。晩年俳誌『ホトトギス』、『玉藻』に隨筆を寄稿してゐたが、ア國在住の儘ガエノスアイレスで歿す。

『五人の娘たち』（昭和二十五年十一月一日龍星社）は日記等を含む遺文集。

